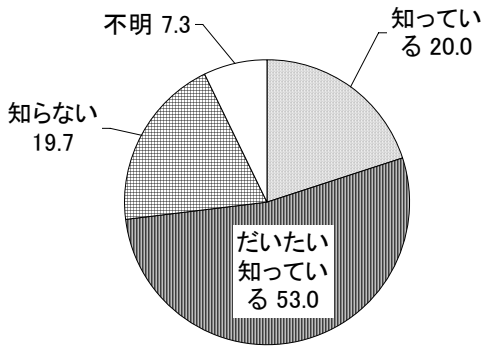


B7. 自分に見合った食事の量を知っているか

[設問]

Q 7 あなたは、ご自分に見合った食事の量を知っていますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	知っている	488	20.0	544	23.8
2	だいたい知っている	1292	53.0	1253	54.8
3	知らない	479	19.7	452	19.8
4	不明	178	7.3	39	1.7
	回答数	2437	100.0	2288	100.0

[回答結果(詳細)]

自分に見合った食事の量を知っているかどうか伺ったものである。

“知っている”(「知っている」+「だいたい知っている」)方が7割を超えている。

前回調査と比較すると、「知らない」の割合は同じであるが、“知っている”が6%ほど減少している。

男女別に見ると、“知っている”は男女共7割を超えており、やや女性の方で高い。

前回調査と比較すると、“知っている”とした方は男性が6%、女性が5%減少している。

年代別に見ると、40～60歳代で“知っている”割合が高く、7～8割ほどとなっている。

前回調査と比較すると、20歳代を除くすべての年代で“知っている”割合が減少しており、特に60歳代で12%、70歳代で9%減少している。

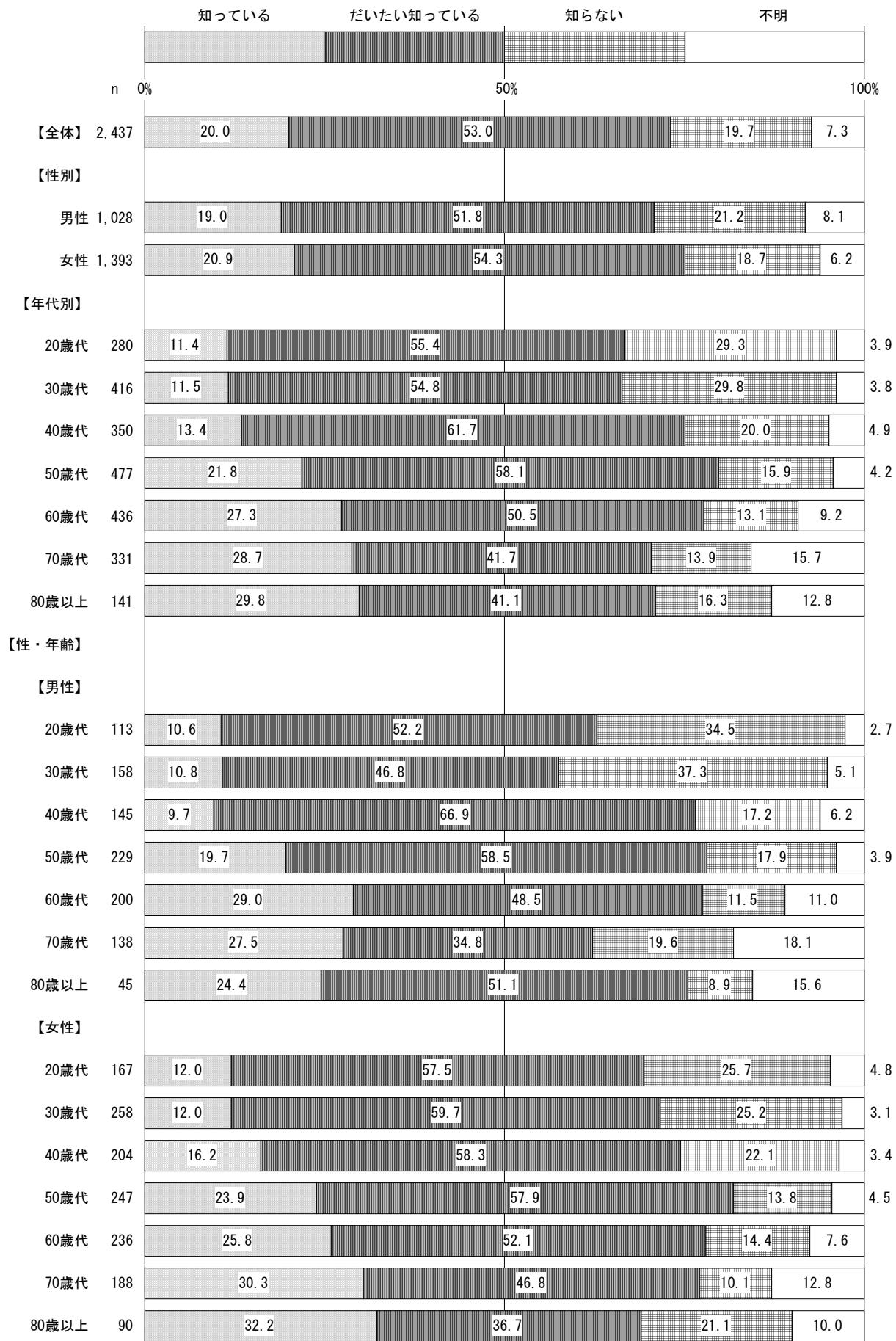
性別・年代別に見ると、“知っている”は男性30歳代で最も低く、唯一5割台となっている。最も高いのは女性50歳代で、唯一8割を超えている。

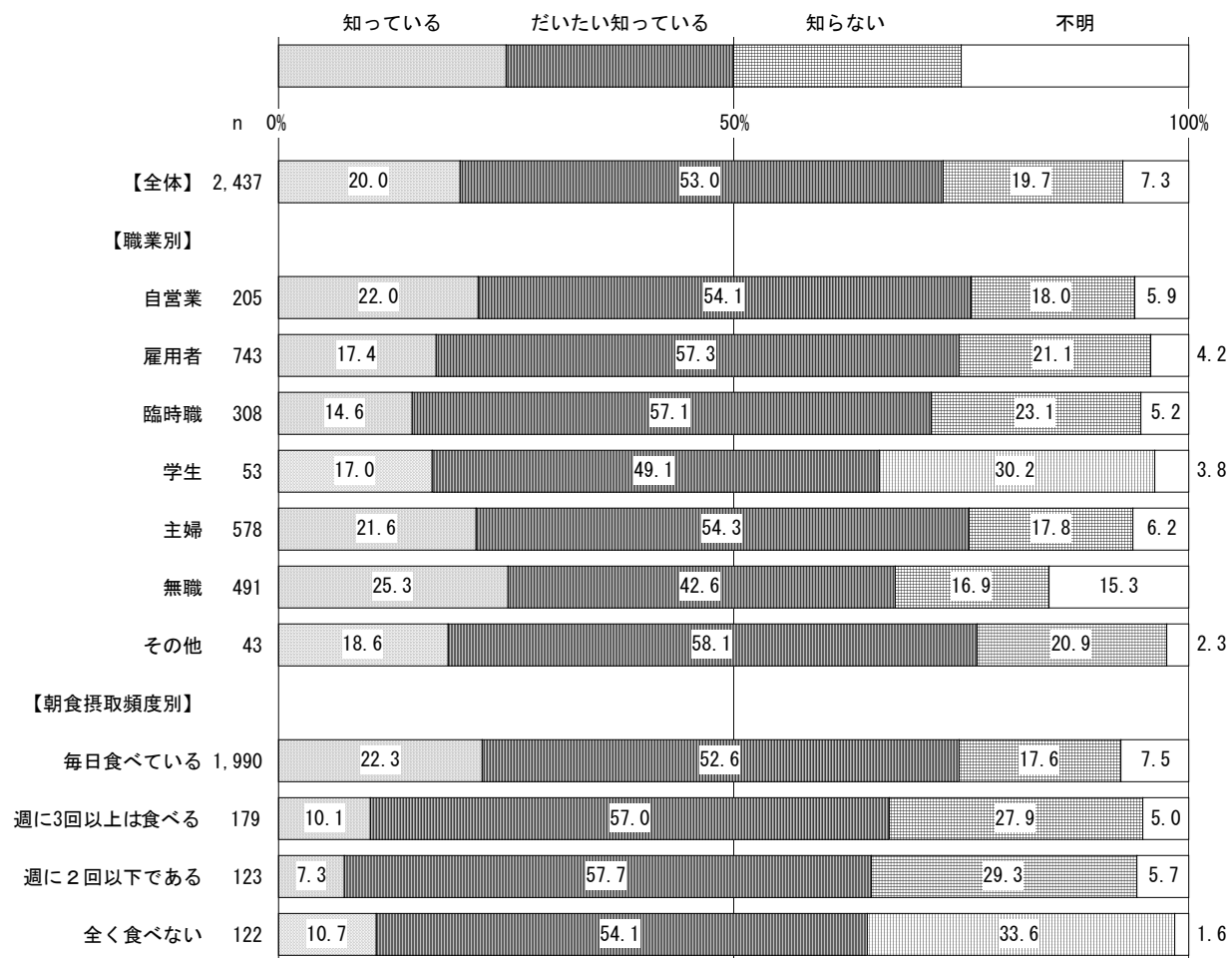
前回調査と比較すると、“知っている”が、男性60歳代で13%、男性70歳代で22%、男性80歳以上で13%減少している。

職業別に見ると、“知っている”は『学生』と『無職』で6割代である以外は、すべて7割を超えており高い。「知らない」は『学生』で高く3割となっている。

前回調査と比較すると、“知っている”はすべての職業で減少しており、特に『無職』で13%、『主婦』で6%減少している。

朝食の摂取頻度別に見ると、全体的に摂取頻度が多い方ほど“知っている”割合が高い傾向にあるが、頻度別に大きな差は存在しておらず、『全く食べない』方でも6割強が“知っている”と回答している。



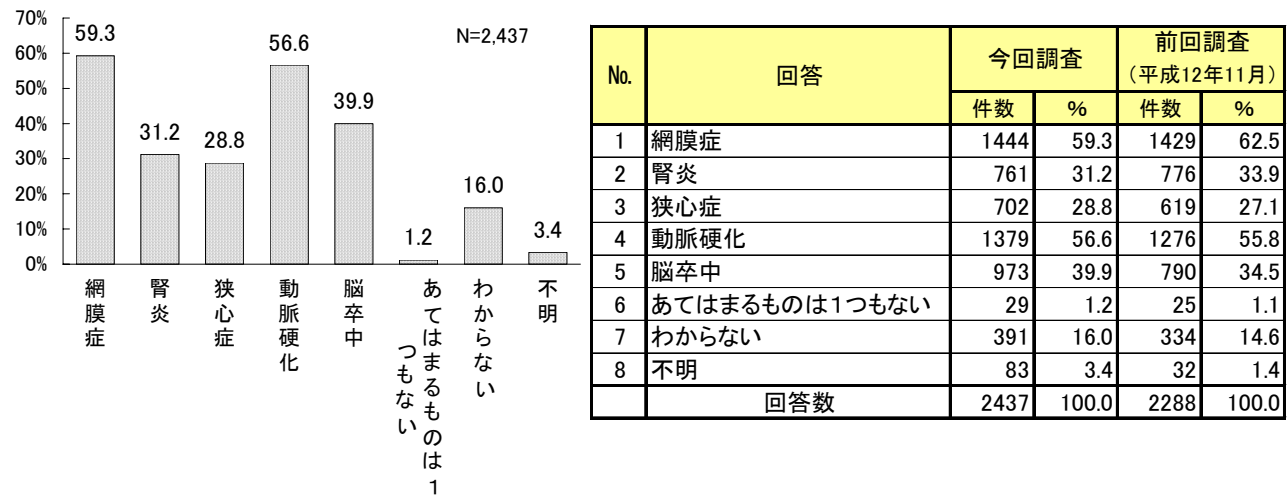


B8. 糖尿病が引き起こす各合併症についての認知

[設問]

Q 8 あなたは、糖尿病が引き起こす合併症はどれだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも(「6」「7」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



[回答結果(詳細)]

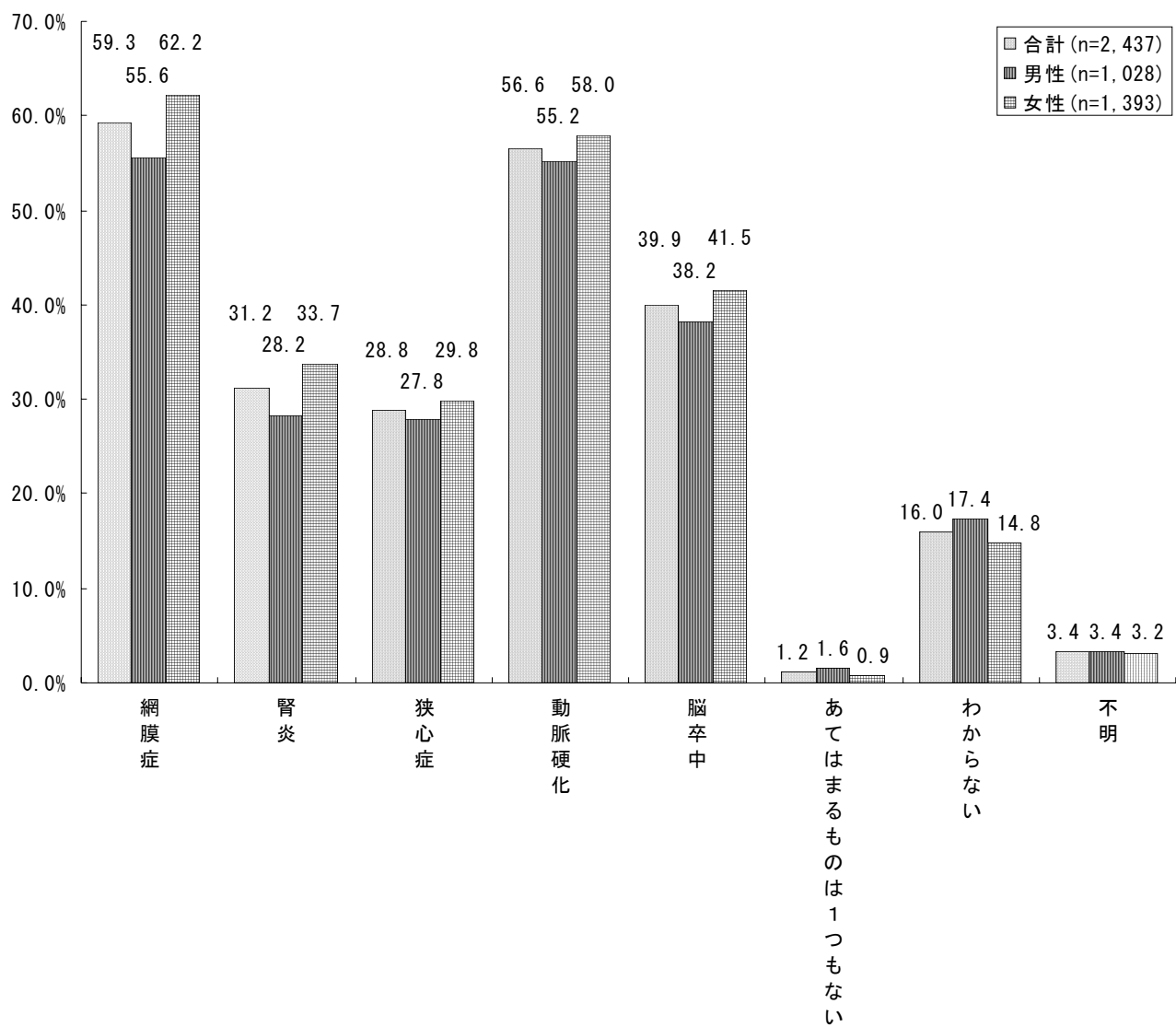
糖尿病が引き起こす合併症について伺ったものである。

最も多かったのが「網膜症」で6割(59.3%)、以下「動脈硬化」(56.6%)、「脳卒中」(39.9%)、「腎炎」(31.2%)と続く。

前回調査と比較すると、「網膜症」、「腎炎」がそれぞれ3%ほど減少、「脳卒中」が5%ほど増加している。

男女別に見ると、男性に比べ女性の方で認知度が高い。

前回調査と比較すると、全体傾向と同じとなっている。

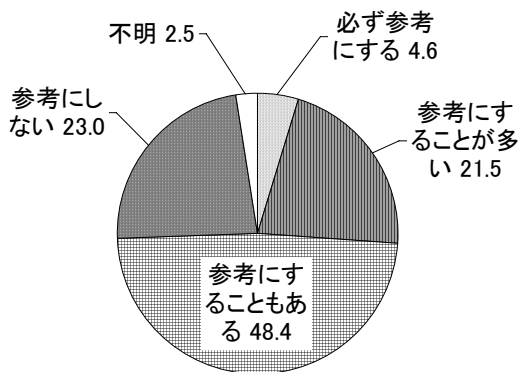


B9. 食品を買うときに栄養成分の表示を参考にするか

[設問]

Q 9 あなたは、食品を買うときに、栄養成分の表示を参考にしていますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	必ず参考にする	113	4.6	110	4.8
2	参考にすることが多い	523	21.5	463	20.2
3	参考にすることもある	1180	48.4	1094	47.8
4	参考にしない	560	23.0	577	25.2
5	不明	61	2.5	44	1.9
回答数		2437	100.0	2288	100.0

[回答結果(詳細)]

食品購入時に栄養成分の表示を参考にするかどうか伺ったものである。

「参考にすることもある」が5割弱と最も多く、「参考にする」（「必ず参考にする」＋「参考にすることが多い」）は3割弱（26.1％）となっている。

前回調査と比較すると、全体的に大きな数字の増減はないが、「参考にしない」がやや減少となっている。

男女別で見ると、「参考にする」は女性の方でかなり高く3割を超える。逆に男性では「参考にしない」が3割となっている。

前回調査と比較すると、「参考にする」は男性が1％、女性が1％増加しており、「参考にしない」が減少している。

年代別で見ると、年代が上がるほど「参考にする」方が多くなる傾向にある「参考にしない」は30歳以下の若い年代と80歳以上で高く2割超となっている。

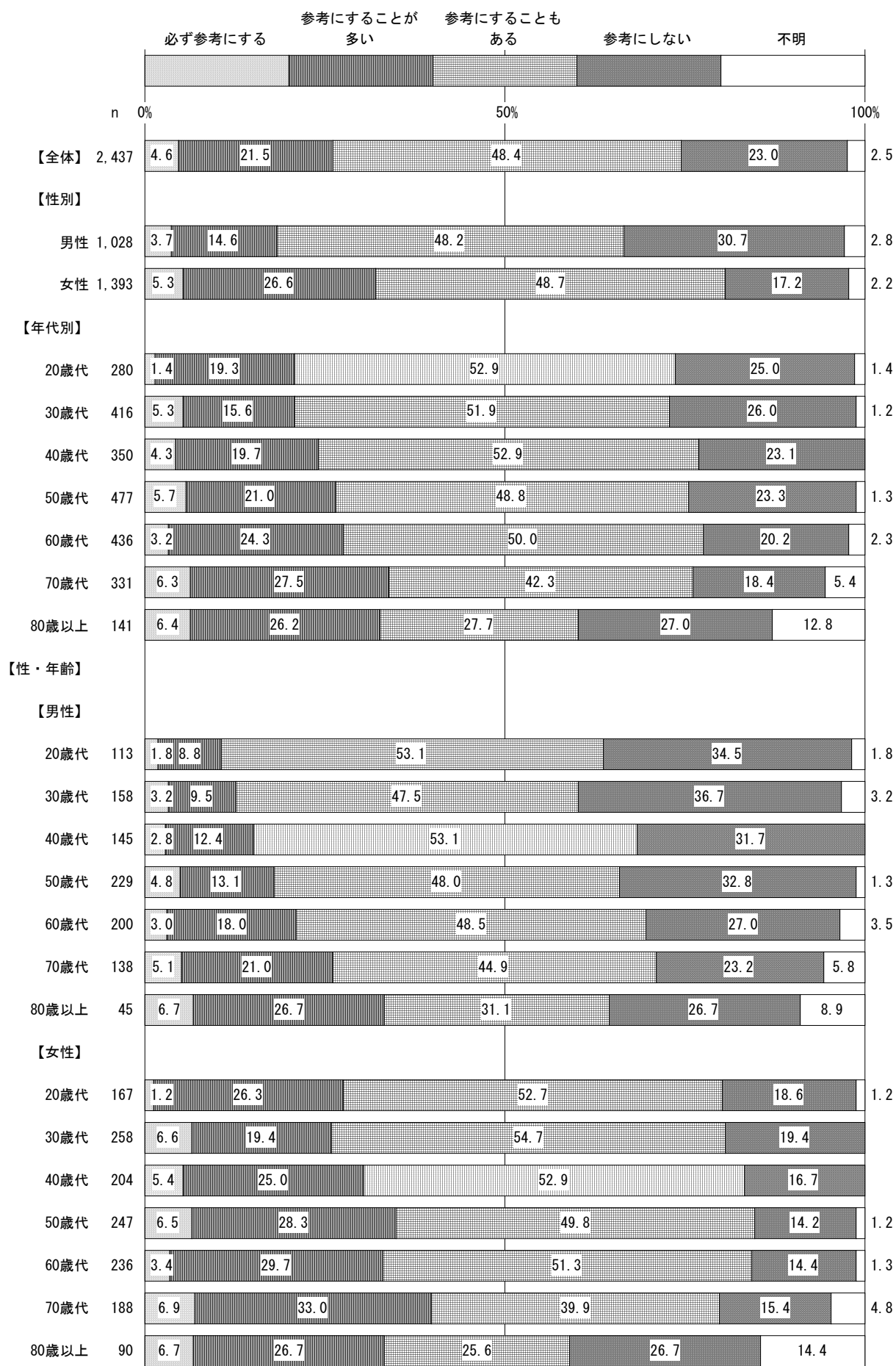
前回調査と比較すると、全体的に「参考にすることもある」が増加している中、50歳代で「参考にする」方が4％増加している。「参考にしない」は70歳代で4％、80歳以上で4％増加している。

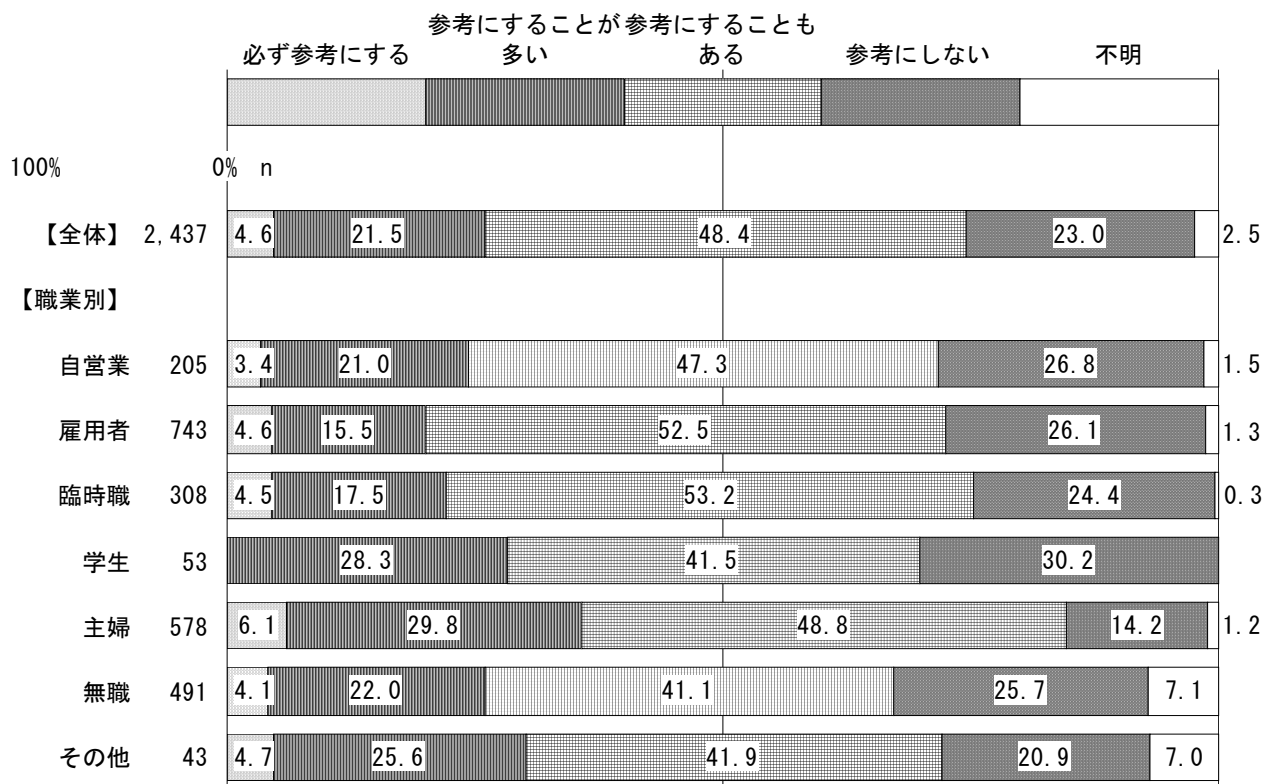
性別・年代別に見ると、全年代において女性の「参考にする」が男性を上回る傾向にある。「参考にしない」は男性50歳以下で多く、3割を超えている。

前回調査と比較すると、「参考にする」は女性50歳代で7％増加、男性30歳代で6％、女性70歳代で5％減少している。

職業別に見ると、「参考にする」は『主婦』でのみ3割を超えており、その他ではすべて2割台となっている。

前回調査と比較すると、「参考にする」は『学生』で5％、『主婦』で5％増加している。



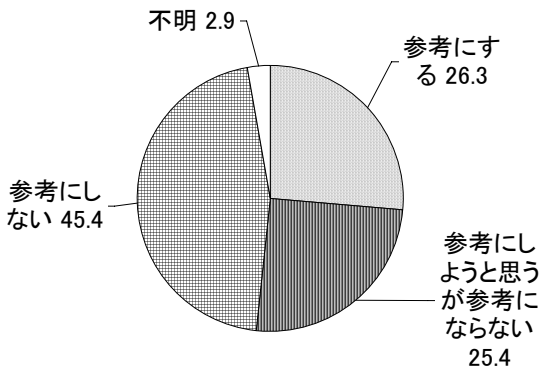


B10. 外食時、メニューの栄養成分を食事を選ぶときの参考とするか

[設問]

Q10 あなたは、レストラン等のメニューに栄養成分が表示されている場合、食事を選ぶときの参考としますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	参考にする	642	26.3	347	40.6
2	参考にしようと思うが参考にならない	618	25.4	191	22.4
3	参考にしない	1107	45.4	314	36.8
4	不明	70	2.9	2	0.2
回答数		2437	100.0	854	100.0

N=2,437人 (注) 前回調査では『レストラン等のメニューで栄養成分表示を見たことがあるか』の問に対し、“見たことがある”と回答した方のみを対象とした。

[回答結果(詳細)]

レストラン等のメニューに栄養成分が表示されている場合、食事を選ぶときの参考とするかどうか伺ったものである。

「参考にしない」が4割強（45.4%）と最も多く、「参考にする」は全体の1／4程度（26.3%）にとどまっている。

前回とは設問形式が違う（前回調査では、『レストラン等のメニューで栄養成分表示を見たことがあるか』との問に対し、“見たことがある”と回答した方のみを対象とした）ため、単純に比較はできないが、「参考にする」は14%の減少、「参考にしない」は約9%の増加となっている。

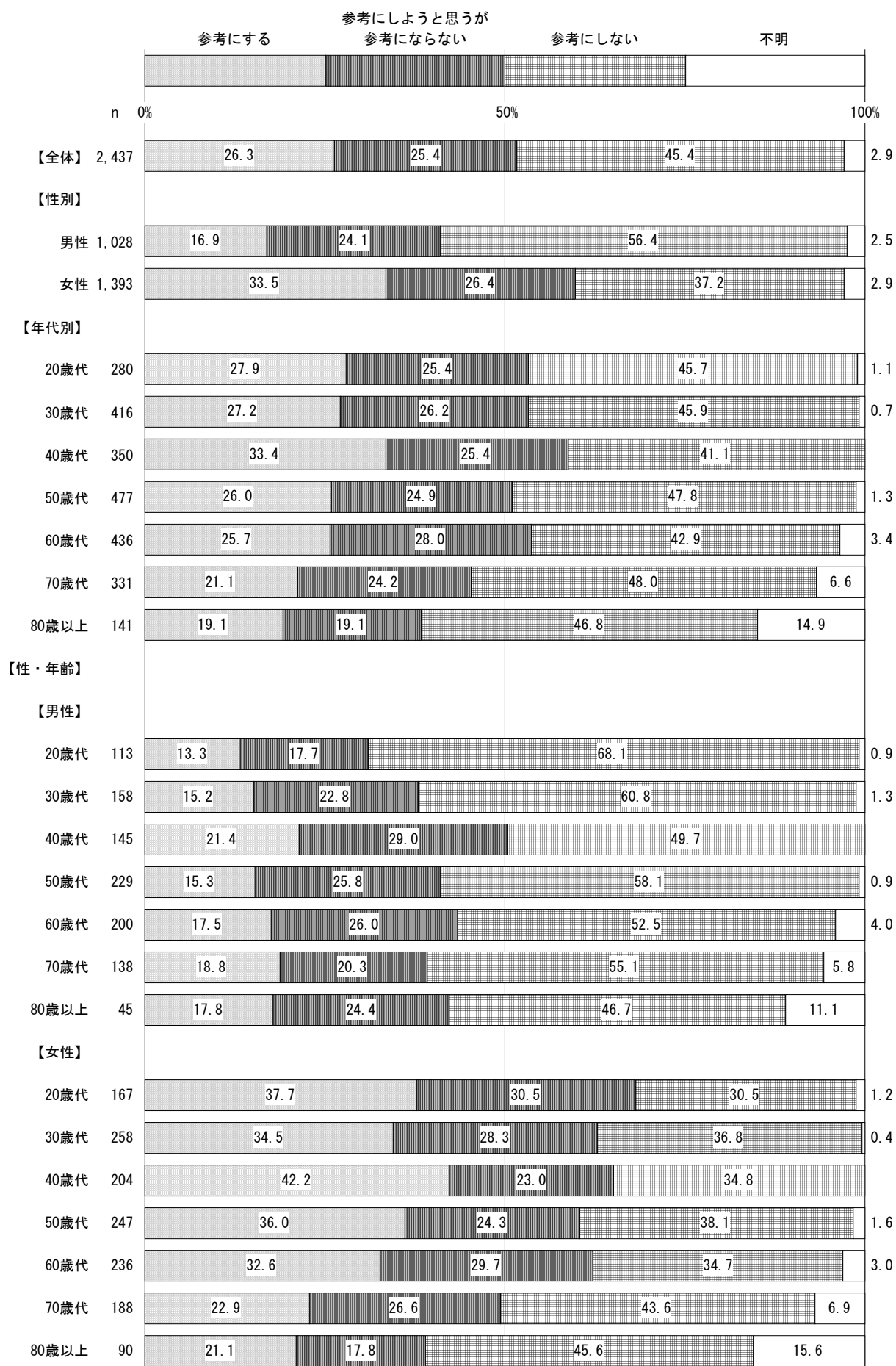
男女別に見ると、「参考にする」は女性で高く、男性の倍となっている。逆に男性では「参考にしない」が5割を大きく超えており、女性より19%高い。

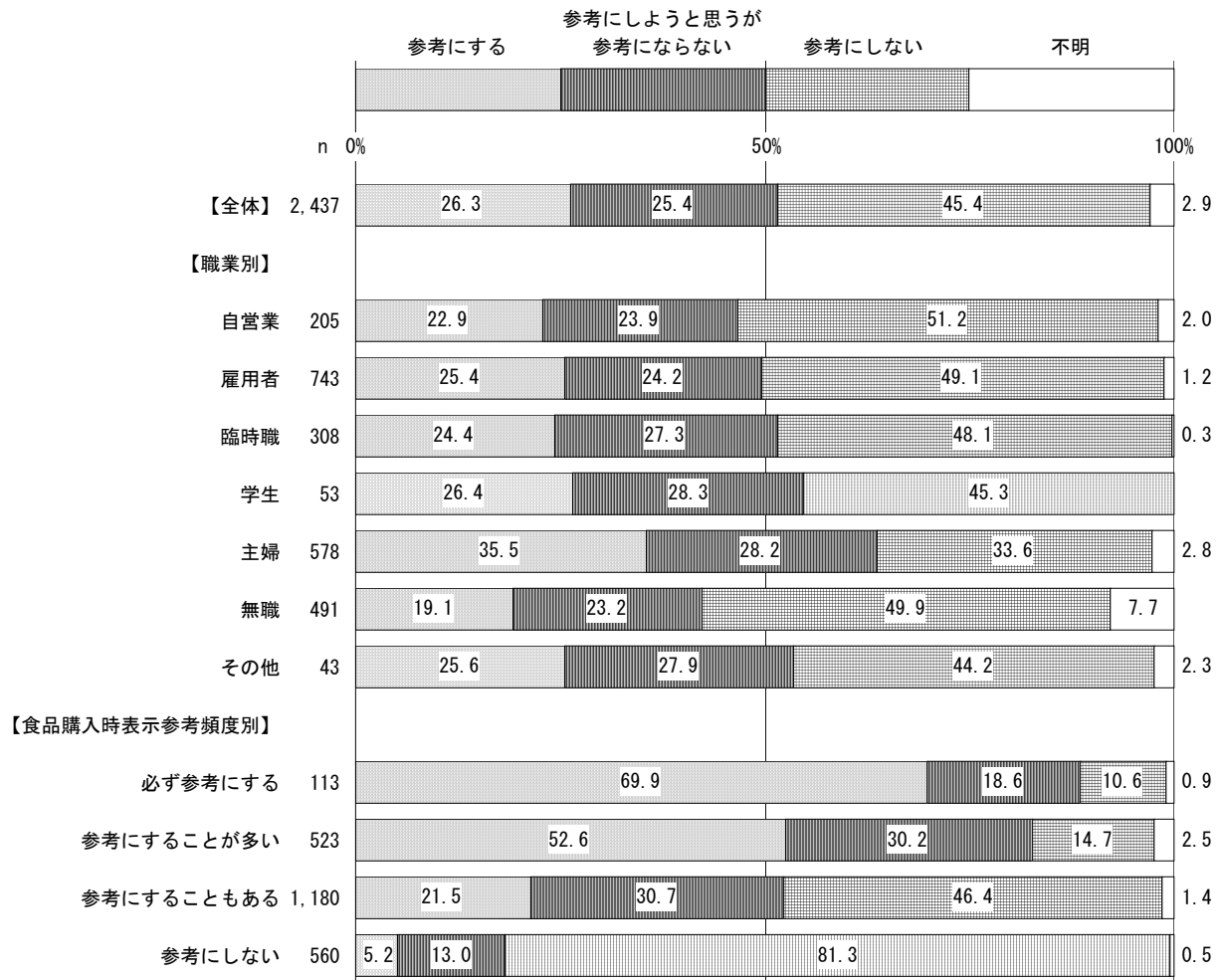
年代別に見ると、「参考にする」は40歳代をピークとして以降、年代が上がるにつれ少なくなっている。「参考にしない」はすべての年代で4～5割ほどとなっている。

性別・年代別に見ると、「参考にする」は男女共40歳代がピークとなっており、以降の年代でゆるやかに減少となる同じ傾向にあるが、各年代における割合は女性の方で高くなっている。

職業別に見ると、「参考にする」は『主婦』で最も高く3割を超える。

食品購入時の参考度合別に見ると傾向が明白に現れており、購入時に『必ず参考にする』方は外食時にも「参考にする」割合が非常に高く7割、購入時に『参考にしない』方は外食時にも「参考にしない」割合が極めて高く8割を超えている。



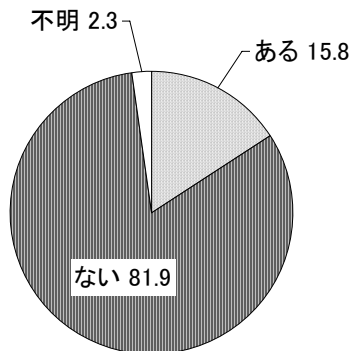


B11. 健康や栄養に関する学習・活動に参加したことがあるか

[設問]

Q11 あなたは、健康や栄養に関する学習の場や自主グループ活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査	
		件数	%
1	ある	386	15.8
2	ない	1996	81.9
3	不明	55	2.3
回答数		2437	100.0

[回答結果(詳細)]

健康や栄養に関する学習の場や自主グループ活動への参加経験を伺ったものである。

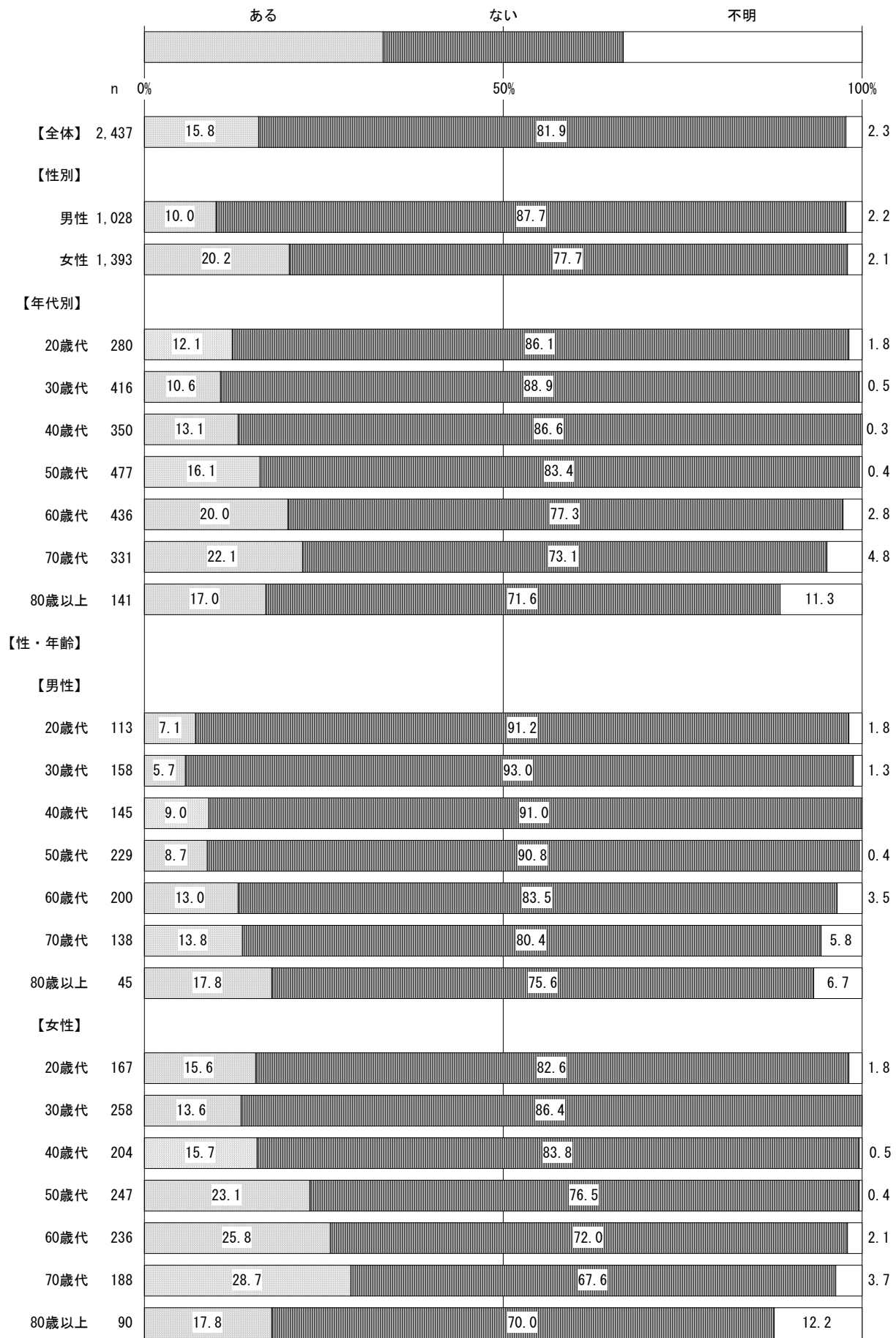
「ない」方が8割を超えている(81.9%)。

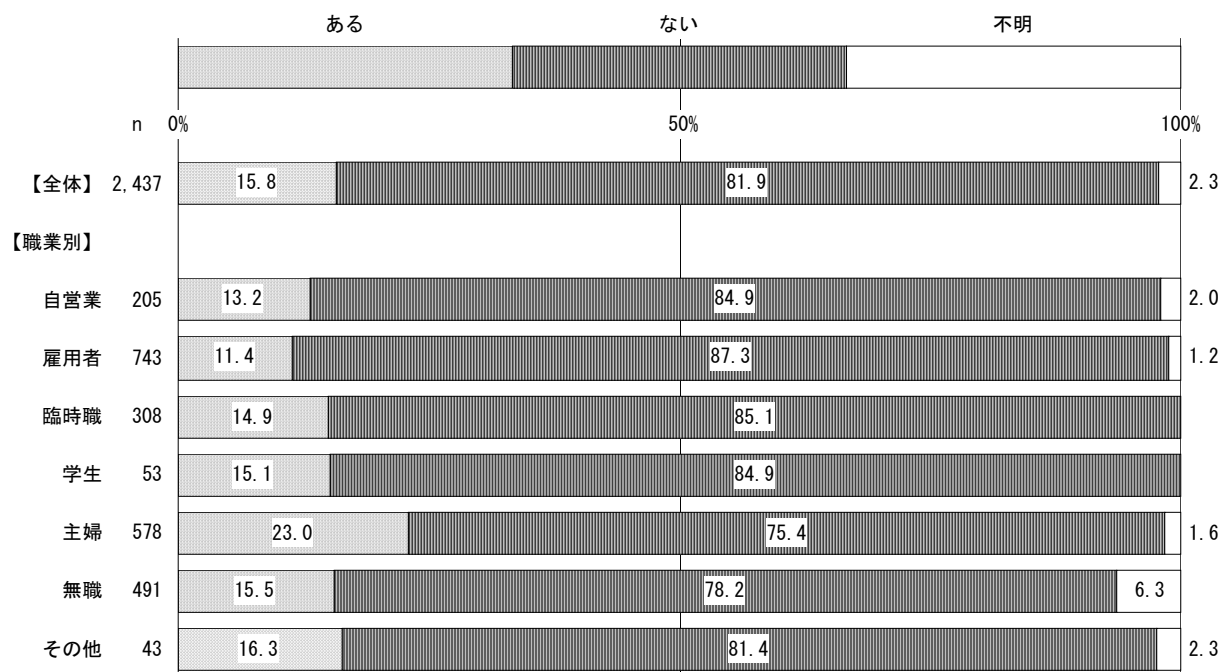
男女別に見ると、「ある」は男性よりも女性の方が多いが、それでも2割どまりとなっている。

年代別に見ると、全体的に高い年代で参加経験者(「ある」)が多く、60～70歳代で2割となっている。一方、40歳代以下の若い年代では、参加経験者の割合がやや少なく1割程度である。

性別・年代別に見ると、男女共高い年代の方で参加経験者が多くなっているが、各年代毎の割合は女性の方で高い。「ある」は女性60～70歳代で最も多く2割を大きく超えている。一方、男性50歳代以下では1割にも満たない。

職業別に見ると、参加経験者は『主婦』で最も多いが、それでも2割程度となっている。



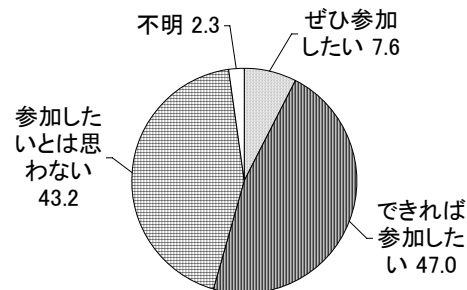


B12. 健康や栄養に関する学習・活動への参加意向

【設問】

Q12 あなたは、健康や栄養に関する学習の場や自主グループ活動が近くで行われたら、参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

【回答結果(全体)】



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	ぜひ参加したい	184	7.6	147	6.4
2	できれば参加したい	1145	47.0	1220	53.3
3	参加したいとは思わない	1052	43.2	833	36.4
4	不明	56	2.3	54	2.4
回答数		2437	100.0	2288	100.0

(注)「ぜひ参加したい」の前回調査における 部は、
上段が『ぜひ参加したい』、下段が『既に参加している』の数値である。
また、前回調査における『興味がない』は「参加したいとは思わない」
に算入している。

【回答結果(詳細)】

健康や栄養に関する学習の場や自主グループ活動が近くで行なわれたら、参加してみたいかどうか伺ったものである。

“参加意欲がある方”（「ぜひ参加したい」＋「できれば参加したい」）は5割を超えている（54.6%）一方、「参加したいとは思わない」方も4割強（43.2%）存在する。

前回調査とはカテゴリが違うため単純に比較はできないが（前回調査では「参加したいとは思わない」がなく、「興味がない」、「既に参加している」がある）、「できれば参加したい」の減少幅が大きく、“参加意欲がある方”は全体として減少となっている。

男女別に見ると、“参加意欲がある方”は男性よりも女性の方で高く6割を超えている。
前回調査との参考比較では、“参加意欲がある方”の割合は男性が4%、女性が8%減少している。

年代別に見ると、80歳以上を除き、年代が上がるほど“参加意欲がある方”が多くなる傾向にある。
前回調査との参考比較では、“参加意欲がある方”はすべての年代で減少しており、特に40歳代で15%、50歳代で10%減少している。

性別・年代別に見ると、男女共、全体的に年代が上がるほど“参加意欲がある方”が多くなる傾向にある。最も参加意欲が高い女性60歳代では7割を超えているが、最も参加意欲が低い男性30歳代では3割にも満たず、3倍近くの格差が生じている。
前回調査との参考比較では、ほぼすべての性別・年代で“参加意欲がある方”が減少している中、男性70歳代で3%、男性80歳以上で3%増加している。

職業別に見ると、“参加意欲がある方”は『主婦』で最も多く6割を大きく超えており、最も少ない『学生』と26%もの格差が生じている。
前回調査との参考比較では、ほぼすべての職業で“参加意欲がある方”が減少している中、唯一『学生』のみ7%増加している。

参加経験の有無別に見ると、参加経験者で“参加意欲がある方”の割合が高くなっており、8割を超えている。

